

授業概要

人間文化学科の学生がどの領域においても必要とする、リベラルアーツの基本を平易な英語で理解することにより、それぞれの専攻する分野で必要となるより高いレベルの英語に進むための基本を養成する。基本的な語彙や表現を理解して覚え、応用できるようにする。また、単に英語力を高めるだけではなく、英語を学びながら教養を深め、多様な分野に関心を持てるように指導する。

授業計画

第1回	オリエンテーション
第2回	文字と言葉について英語で学ぶ（1）ウォームアップ ポキャブラリーチェック
第3回	文字と言葉について英語で学ぶ（2）リーディング・リスニング・オーラルプラクティス
第4回	文字と言葉について英語で学ぶ（3）確認と復習
第5回	英語の詩を読んでみよう（1）ウォームアップ ポキャブラリーチェック
第6回	英語の詩を読んでみよう（2）リーディング・リスニング・オーラルプラクティス
第7回	英語の詩を読んでみよう（3）確認と復習
第8回	まとめと復習
第9回	英語の物語を読んでみよう（1）ウォームアップ ポキャブラリーチェック
第10回	英語の物語を読んでみよう（2）リーディング・リスニング・オーラルプラクティス
第11回	英語の物語を読んでみよう（3）確認と復習
第12回	音楽について英語で学ぶ（1）ウォームアップ ポキャブラリーチェック
第13回	音楽について英語で学ぶ（2）リーディング・リスニング・オーラルプラクティス
第14回	音楽について英語で学ぶ（3）確認と復習
第15回	まとめと復習
第16回	筆記試験

到達目標

人間文化学科のどの領域においても必要となる英語の基礎的学力を養成する。

履修上の注意

語学力の養成には繰り返しが必要である。語彙、表現を何度もノートに書き、繰り返し発音すること（音声データは出版社のサイトからダウンロードできる）。授業には必ず英和辞典（電子辞書も可）を持参すること。遅刻は受講態度においてマイナスとなる。

予習復習

知らない語彙、表現は必ず辞書で調べてくること。授業中にとったノートを繰り返し読むこと。

評価方法

担当教員によって多少の異同はあるが、予習・復習の有無、随時行う小テスト、課題の提出などを受講態度として点数化し、筆記による定期試験の結果と合わせて評価する。

学期末試験 70% 受講態度 30%

テキスト

『英語で学ぶリベラル・アーツ』朝日出版社 上村淳子他 1800円

授業概要

この授業は、これまで培ってきた英語の基礎力の確認、苦手分野の補強をして、大学での英語の学習をする上での土台となる英語力を養成する再履修科目である。

この講義では、各單元において、短期留学生のニュー・ヨークでの日常を描いたスキットを通して、基本的な文法事項を確認しながら、英語を学習することによって、これまでの英語の力を補強し、英語の基礎力向上を目指す。

授業計画

テキストの項目に沿って、以下の文法事項を学習する予定である。なお、授業の進度により学習内容に変更が加えられることがある。

第1回	イントロダクション：授業の概要、成績の評価方法などの説明
第2回	Scene 1 It's so Nice to Meet You! 挨拶をする / スキットの学習
第3回	Scene 1 It's so Nice to Meet You! 挨拶をする / be 動詞と一般動詞
第4回	Scene 2 Is He a Popular Professor? 自己紹介をする / スキットの学習
第5回	Scene 2 Is He a Popular Professor? 自己紹介をする / 疑問文と否定文
第6回	Scene 3 He Showed Me "a" Way. 感想を言う / スキットの学習
第7回	Scene 3 He Showed Me "a" Way. 感想を言う / 現在形と過去形
第8回	中間試験、第1回目から第7回目までの復習と補足
第9回	Scene 4 For Here or To Go? 注文をする / スキットの学習
第10回	Scene 4 For Here or To Go? 注文をする / 可算名詞と不可算名詞
第11回	Scene 5 She Is So Beautiful. お願いごとをする / スキットの学習
第12回	Scene 5 She Is So Beautiful. お願いごとをする / 代名詞
第13回	Scene 6 Catching a Cab 場所を説明する / スキットの学習
第14回	Scene 6 Catching a Cab 場所を説明する / 前置詞
第15回	第9回目から第14回目までの復習と補足
第16回	定期試験（筆記試験）

到達目標

文法、英語によるコミュニケーションの仕方などを学ぶことによって英語の基礎力を身につけて、今後の大学で英語を学習するための力を養う。

履修上の注意

授業には必ずテキスト、ノート、英和辞典を持参すること。なぜこの再履修科目を履修しなければならないようになったのか、各自振り返った上でこの授業に臨んでいただきたい。

予習・復習

英語の基礎力を身につけるために、毎回予習、復習をかならず行うこと。予習、復習を継続していけば英語の力は確実に向上していくはずである。

評価方法

提出物（30点）、筆記試験（中間試験、定期試験）（70点）によって総合的に評価する。詳しい評価方法については初回の授業で説明するので必ず出席のこと。なお、定期試験ではリスニングの形式で問題を出題することはない。

テキスト

土屋武久、本多吉彦、Braven Smillie *Hello New York!: Learning Basic English with Aya in 15 Episodes* (金星堂)